

平成30(2018)年7月24日
第 68 号
 発行人 世田谷稲門会 明一子 行男子
 発行人 横田並山 多美子 内林 隼
 編集 榎秋兼大若 鷲

事務局 〒157-0062
 世田谷区南島山 5-4-10-4F
 TEL/FAX 03-5384-2435
 戸田 昇(とだ のぼる)



世田谷稲門会会報

納涼会

真夏の午後、ビアホールで乾杯!!

8月25日(土) 15時開宴

渋谷の「ツムビアホフ渋谷」にて

平成30年の納涼会は、渋谷の繁華街のど真ん中、宇田川交番前ちとせ会館4階ドイツビアホール「ツムビアホフ渋谷」にて開催されます。主催は世田谷稲門会(担当・キャロット会)です。出演バンドは早稲田大学ニューオーリンズジャズクラブOBバンドです。

「ツムビアホフ渋谷」はミュンヘンのホフプロイハウスを再現したドイツビアホールで、5種類のドイツビールが飲み放題です。その他ドイツワイン、カクテル各種、ソフトドリンク各種も飲み放題です。

料理は本場ドイツから直輸入した豪華なグリルソーセージや専用のロテサリーでじっくり美味しく焼き上げたローストチキンなどを生ビールとともにお楽しみください。

暑い夏の午後、ドイツビールを飲みながら親しくご歓談ください。

ツムビアホフ渋谷
 渋谷区宇田川町13-8
 ちとせ会館4階
 TEL 5459-1598
 (富塚 兆彌/記)



申し込みは同封されている振込用紙にてお願いします。会費は6000円です。詳細は同封の納涼会案内をご参照ください。

世田谷稲門会役員名簿 (平成30・31年度)

役職	氏名	卒年・学部	担当	備考
会長・常任幹事	横田吉明	昭38・商		商議員、西北
副会長・常任幹事	鈴露木宏	昭38・商	イベント企画統轄	商議員、千歳
副会長・常任幹事	熊谷慶紀	昭38・政経	イベント企画統轄	商議員、きぬた
幹事長・常任幹事	國林澤俊	昭43・理工	特命担当	商議員、西北
副会長・常任幹事	林馨一	昭45・理工	事務局統轄	代議員、きぬた
事務局長・常任幹事	戸田昇	昭47・政経	事務局担当	商・代議員、玉川
幹事	真木郁夫	昭40・理工	ブロック会統轄	代議員、千歳
幹事	富塚兆彌	昭41・政経	組織拡充統轄	玉川
幹事	小林昭一郎	昭41・政経	部会担当	代議員、キャロット
幹事	旭正勝	昭41・商	部会統轄	代議員、玉川
幹事(新任)	牧哲郎	昭43・理工	部会担当	けやき
幹事	桃井清治	昭44・政経	部会担当	玉川
幹事	井上浩文	昭45・理工	会計統轄	代議員、西北
幹事	小佐浩一	昭45・法	組織拡充担当	けやき
幹事(新任)	左伯憲	昭45・法	会計統轄補佐	代議員、さくら
副幹事長・幹事	榎並俊一	昭46・理工	広報・HP統轄	きぬた
幹事	薄井好雄	昭47・商	23区支部担当、23区支部幹事	代議員、きぬた
幹事(監事から幹事へ)	山田昭憲	昭50・政経	組織拡充担当	商議員、千歳
事務局長補佐・幹事	斉藤正憲	昭50・理工	事務局担当・ブロック会担当	代議員、西北
幹事(新任)	濱野千鶴子	昭50・教育	事務局担当、レディースクラブ担当	けやき
事務局長補佐・幹事	篠崎章子	昭52・政経	事務局担当、地域サポート活動部会担当	キャロット
幹事	中島史郎	昭59・法	青年部統轄	代議員、千歳
幹事	池田友彦	昭62・文	青年部担当	代議員、さくら、青年
幹事(新任)	秋山多美子	平01・教育	広報・HP担当、青年部担当	代議員、西北、青年
監事	寺島邦夫	昭38・政経	イベント企画担当	商議員、西北
監事(幹事から監事へ)	矢後勝洋	昭40・政経	ブロック会担当	代議員、さくら
顧問	柏良子	昭31・政経		商議員、西北
顧問	土倉享一	昭34・政経		商議員、西北
顧問	麻生卓	昭34・政経		商議員、千歳
顧問	島田貴	昭40・法		商・代議員、けやき

第27回定時総会

前スキー部監督
倉田秀道氏講演

平成30年6月2日(土)、青山のアイビーホールにて第27回定時総会が開催された。午前11時開会、ご来賓を含めて79名が参集した。

第一部は島田實幹事長による司会で、第27回定時総会が行われた。冒頭議事に先立ち前回総会以降の物故者8名への黙とうが捧げられた。続いて議案I・II・IIIが審議され承認された。任期満了による役員選任では、新たに4名の幹事(牧哲郎、佐伯基憲、濱野千鶴子、秋山多美子)が新任された。また島田幹事長、河野幹事が退任された。國澤俊一氏が新幹事長に指名された。早稲田大学副総長の島田陽一氏にご挨拶をいただいた。大学の現状について詳細にご説明いただいた。

第二部は、中島史郎幹事の



島田陽一 副総長



横田吉明 会長



杉並稲門会長
長谷川副会長



世田谷三田会三宅会長

司会により、早稲田大学スキー部の前監督である倉田秀道氏の講演会が開かれた。倉田氏は2003年から2016年までスキー部監督として、ノルディックの渡部暁人選手やパラリンピックの村岡桃佳選手を育てた。監督任在中、有力選手のリクルート対策などで苦労された。

講演要旨…他大学はスポーツ選手との出会いや、障害を持つ推薦枠が充実しているが早稲田はそこまで充実しておらず苦労した。早稲田スキー部は、男子は2位が続いており今年も1位だった。女子は2012年から1位が継続している。女子はまじめに練習するので上達が早い。トップアスリートを育てるには入試からの受験戦略が大切で、これぞといった人材には現役学生を3名張り付かせて受験対策を実施した。日本のスキーを強くするには練習環境の整備が不可欠だ。日本の男子大学生は年間で850時間程度の練習時間だが、海外のトップ選手は年間1200時間も練習している。パラアスリートの村岡桃佳選手との出会いや、障害を持つ



▲▲ 講演する倉田秀道氏

つ選手を受け入れるために大と交渉して、寮のバリアフリー化などを実現し、現在に至るまでの苦労話を披露していただいた。

村岡選手からのビデオレターが放映され、パラリンピック金銀銅のメダリストも普通の女の子なんだなという印象を受けた。



乾杯の音頭をとる露木副会長



日本酒などのふんだんなお酒を楽しみながら歓談となった。途中、6月16日(土)予定のレディースクラブ講演会や8月25日(土)予定の納涼会の案内があった。講演会講師の中山医師の飛び入りメッセージもあり、盛り上がった。

最後は中島幹事によるリードで校歌斉唱とエール交換があり、熊谷慶副会長の閉会宣言でお開きとなった。

(榎並 俊一/記)



リードする中島幹事

第三部は、お待ちかねの懇親会。鈴木宏治副会長の挨拶の後、早稲田大学地域コーディネータの嶋村貴志氏、杉並稲門会副会長の長谷川将氏、世田谷三田会会長の三宅茂樹氏の挨拶をいただき、新入会員の松尾桂輔氏の挨拶の後、露木副会長の乾杯の音頭により宴会が始まった。美味しいコース料理とビール、ワイン、



世田谷稲門会・平成29年度決算及び30年度予算

(単位:円)

項 目		29年度予算	29年度決算	30年度予算
前期末積立金		400,000	400,000	500,000
前期繰越金		① 1,351,488	1,351,488	1,362,223
収 入	年会費(準会員含み)	② 1,388,000	1,306,500	1,453,000
	総会 会費	ア 700,000	705,000	700,000
	新年会 会費	イ 900,000	722,000	800,000
	納涼会 会費	ウ 1,000,000	962,000	1,000,000
	諸行事 小計(ア～ウ)	③ 2,600,000	2,389,000	2,500,000
	校友会組織強化補助金	エ 528,000	537,000	537,000
	利息収入	オ 10	9	10
	その他収入小計(エ～カ)	④ 528,010	537,009	537,010
収入合計②③④		4,516,010	4,232,509	4,490,010
支 出	総会 費用	1 700,000	632,393	700,000
	新年会 費用	2 800,000	677,861	720,000
	新年会景品代	3 100,000	77,378	80,000
	納涼会 費用	4 1,000,000	962,024	1,000,000
	諸行事 小計(1～4)	I 2,600,000	2,349,656	2,500,000
	早大サポーターズクラブ寄付金	5 50,000	50,000	50,000
	ブロック会支援金	6 70,000	70,000	140,000
	部会支援金	7	100,000	110,000
	ブロック会・部会代表者会議費	8 40,000	5,500	20,000
	レディースクラブ活動費	9		30,000
	青年部会活動費	10		10,000
	校友会23区活動費	11 200,000	214,627	200,000
	広報活動費	12 650,000	603,914	620,000
	会議費	13 270,000	320,360	300,000
	事務用品費	14 120,000	111,127	140,000
	通信費	15 200,000	162,546	180,000
	雑費	16 60,000	46,120	60,000
	世田谷25周年記念行事費	17 100,000	87,924	
	積立金繰入額	18 100,000	100,000	100,000
	教育訓練費	19		30,000
予備費	20 110,000			
諸経費 小計(5～20)	II 1,970,000	1,872,118	1,990,000	
支出合計 I + II		4,570,000	4,221,774	4,490,000
次期繰越金		1,297,498	1,362,223	1,362,233
積立金(記念事業等)		500,000	500,000	600,000

(29年度決算)次期繰越金+積立金=1,862,223円 内訳

現金54,953 銀行預金986,315 ゆうちょ預金820,955

ブロック会だより

西北

「第37回西北会例会開催」

平成30年5月27日(日)16時より「第37回西北会例会」を渋谷道玄坂の中華料理「パンダレストラン」で23名の参加で開催。今回は会場に選んだ渋谷の再開発状況をこの際に勉強しておきたいとの要望があり、渋谷区元都市整備部長の秋葉英敏さんをお招きして講演をして頂いた。主として渋谷駅を中心に更に4つのランドマークの誕生、歩行者ファーストで地下と地下を結ぶアーバンコア、主要ビル間をつなぐスカイウェイ、更には渋谷川沿いに緑豊かな遊歩道の復活など夢のある街への変貌を丁寧に説明。



その後開宴となり、寺島邦夫代表世話人より日頃の協力に感謝し、会員増強への協力更には総会参加を呼び掛け乾杯の発声。一気に懇親交流の輪が広がった。頃を見計らって北澤八幡神社の矢島嗣久宮司より奉賛金への謝礼とその後の改修状況を報告。横田吉明会長より総会への呼びかけや早稲田魂で世田谷稲門会の更なる発展を力説。大いに盛り上がったが時間となり、次回まで皆さん元気でとの奥野裕さんの中締めで散会とした。

今後の予定は30年6月21日(木)桜ヶ丘CCで西北会・けやき会合同懇親ゴルフ開催。(桃井 清治/記)

キャロット

平成30年4月3日(火)砧公園で開催された「花見の会」に、きぬた会・さくら会・玉川会との共催で参加しました。昨年同様26名の参加を得て楽しく飲みました。当日は晴天で絶好の花見日和といたいたところでしたが、桜の満開時期を1週間ほど過ぎてしまい、絶好とは言えませんでした。それでも「花より団子」で楽しく過ごしました。



来る8月25日(土)にはキャロット会担当の「納涼会」をドイツピアホール「ツムピアホフ渋谷」で開催に向け準備中です。多数の皆さんのご参加をお待ちします。参加費は6000円です。さらに10月の土曜日から日曜日には、けやき会が以前開催し好評だった地元の世田谷区世田谷1-11-16の「イタリ庵・蕎麦石はら」で会食を予定しています。

今年の総会を兼ねた忘年会は12月8日(土)の昼、銀座アスター三軒茶屋賓館で開催予定です。

(富塚 兆彌/記)

千歳

平成30年度第1回目の懇親会を4月21日(土)、午後1時30分から府中駅南口の「梅の花」にて開催しました。

懇親会に先立ち、12時に14名が府中駅に集合し、国の天然記念物である、緑の美しいけやき並木を通り、武蔵総社である大國魂神社に参詣しました。

千歳会は京王沿線がテリトリーの方たちが多いのですが、大國魂神社に初めて訪れた方々が多く、歴史の長さに感嘆していました。

午後1時30分から、19名にて総会及び懇親会を開催しました。本部から林事務局長、さくら会から前・現代表世話人の江原・小口両氏にもご出席いただきました。平成29年度会計報告、世田谷稲門会の最近の動きの紹介などのあと、乾杯、懇談に移りました。途中、各人の近況報告、稲門祭記念品の購入依頼を行い、多大なるご協力をいただきました。湯葉と豆腐を主体とした料理とお酒を楽しみ、和やかなうちにお開きとなりました。



(戸田 昇/記)

きぬた

4月3日(火)、昨年と一昨年大変好評でありました砧公園での「花見の会」を、キャロット会・さくら会・玉川会・きぬた会の合同企画で開催致しました。桜の開花予想を基に日程を決めましたが、今年は満開が予想より早く、当日は既に葉桜模様になっておりました。

ご参集の26名の皆様からお持ちよりいただきました日本酒・焼酎・ワイン・ウィスキー等と会費で準備しま

たビール・ウーロン茶・オードブルとで、好天のもと大いに盛り上がりました。11時に開会して午後1時に中締めとしましたが、その後も多くの方がお残りになられ楽しいお話を続けました。

また来年も合同企画にて「花見の会」を開催する予定であります。是非多くの皆様に参加して頂きたく、宜しくお願い致します。(國澤 俊一/記)



玉川

5月13日(日)総会を玉川総合支所(仮設庁舎)二子玉川庁舎で開催しました。本部から横田会長にご出席いただき、会員65名中27名が出席しました。午前10時30分に植原さんの司会で開会。真木代表世話人の挨拶と今年度の所信表明があり、その後議事に入りました。新年度の世話人人事報告の後、29年度活動報告及び決算報告、30年度活動計画説明と議事が進行し承認されました。



続いて立教大学セカンドステージ大学教員の坪野谷雅之氏を講師に迎え、講演会を行いました。講演テーマを「アクティブ シニアの多様な生き方」(学びの情熱がつきることなく)として、自分の暮らす地域社会と関わり合いながら、一生を通じて学び続ける大切さをしみじみと感じさせる、大変含蓄のあるお話をさせていただきました。

12時過ぎから、横山の司会で懇親会に入りました。冒頭に横田会長にお言葉をいただきました。荻野さんの発声で乾杯をし、食事と歓談となりました。スピーチは世田谷稲門会のスポーツ観戦部会の世話人代表を担当されている玉川会会員の小林昭一郎さんをお願いしました。その後、世田谷稲門会総会の案内、稲門祭福引付き奨学金記念品販売の案内と続きました。奨学金寄付金を含めて大変多くの方々のご協力をいただきました。続いて、玉川会の各部会主担当より、グルメ会、ゴルフ会、イベント、カラオケを楽しむ会、多摩川クリーン作戦の本年度活動予定の発表を行いました。しばしの歓談の後、浜田さんに締めの挨拶をしていただき、2時過ぎに閉会しました。

(横山 修/記)

けやき

4月21日(土)12時から千歳船橋の「レストラン オーランドブー」で25名が出席し総会が開催されました。全議案が承認されたあと、「講話」をけやき会会員の杉本賢治さん(S36 理工)をお願いしました。テーマは、「アマチュア無線の魅力語る」。アマチュア無線を始められたきっかけやご自身とアマチュア無線との関係、世界中のアマチュア無線仲間との交信記録の紹介、災害時のアマチュア無線の効用、小中学生を対象にした「電子工作教室」と「プログラミング教室」の様子などを熱く語っていただきました。



講話後の懇親会はフレンチのランチをいただきながらそれぞれ近況報告をしました。テーブル毎にも会話が弾み、あっというまにお開きの時間に。最後は全員でカラオケによる伴奏で声高らかに校歌を斉唱して総会を無事終了しました。

「稲門祭」記念グッズの予約販売と奨学金の募集を実施したところ11名、合計58,000円の売上げがありました。

(斎藤 正憲/記)

さくら

平成30年4月3日(火)開催のさくら会・きぬた会・キャロット会・玉川会の共催による砧公園での「花見の会」は、夏を思わせるような今年の春の異常気象の影響で桜の開花も例年より早まりましたが、幸い好天に恵まれ満開の桜と花吹雪を同時に楽しむ事が出来ました。当日はさくら会の上田忠雄氏の乾杯の音頭のもとに、出前の料理や参加者方々から珍しい和洋の酒の寄贈もあり、花とだんごの両方を行う春と共に十分に堪能しました。



尚、さくら会は4月の新年度から小口浩一氏を代表世話人としてスタートしましたが、昨年の納涼会で協力しあった千歳会の懇親会が4月21日に「梅の花」府中店で開催されたのを機会に新代表の小口氏、前代表の江原の両名にて出席し相互に親交を深める和やかなひとときを楽しみました。

(江原 利次/記)

特別部会だより

地域サポート活動

地域サポート活動部会は社会貢献を目的として募金活動を行っています。29年度も納涼会でのバザーなどを通じ約20万円のご寄付が集まりました。この寄付金は、毎年、社会的な支援活動を行っている様々な施設、団体に寄付しています。

29年度は、検討の結果、一般財団法人「重い病気を持つ子どもと家族を支える財団」(キッズファミ財団)に20万円の寄付をいたしました。

同財団は重い病気を持つ子どもと家族への支援の輪を広げる活動をしています。詳細は会報67号でも紹介しましたが、日本で初めての医療型短期滞在施設「もみじの家」を世田谷区に設立、運営しています。世田谷稲門会会員のなかにはこの運営にボランティアとして関わっている方もおられます。

まだ社会全体の支援体制が十分ではないなか、国や自治体に先駆けてこのような活動に取り組んでいる同財団に深い敬意と賛意を表します。僅かな支援ではありますが、活動の一助となることを願っています。財団からはご丁寧な礼状をいただきました。併せてご報告いたします。



(篠崎 章子/記)

レディースクラブ

世田谷稲門会レディースクラブは、岩上前会長の肝煎りで、平成26年1月にスタートし、私は「応援団長」を仰せつかりました。「今更、女性だけの集まりに意味があるのか」という声があったことも承知しています。しかし、女性の意見を集約するような仕組みを作ることは、意味があったと思っています。

最近メディアが取り上げるニュースは、セクハラ・パワハラ・マタハラといった女性の立場を無視する社会現象が目立ちます。

日本の人口は、女性が男性より340万人も多いことを考えれば、女性の力やアイデアが、もっと活用されるべきだと思います。

「老後」や「終活」、「健康寿命」といった身近なテーマに取り組んでいるレディースクラブの活動を、応援してください。部会は月1回、ほとんど全員参加で活動しております。今年度に入ってから6月16日(土)に開催された講演会について検討してきました。

ご参加された方、いかがでしたでしょうか？また、今年度バザーはありませんが、来年度には会場の都合さえ許せば是非行いたいと思います。お楽しみに。



(露木 茂・井上 文/記)

青年

今年度初めての青年部例会が、平成30年3月28日(水)に三軒茶屋にある居酒屋「魚屋 さんじゅうまる」を貸し切って行われました。このお店は世田谷稲門会本部でもよく利用されるお店のようで安くて美味しいと評判でしたので、青年部の会合でも利用させていただきました。当日は参加者が18名、初参加の方も3名となり、青年部ですが幅広い年齢層の方々が集まり、普段あまり経験できないような貴重な時間を過ごすことができました。

このような会合を年3回行っていますが、次回例会は7月6日(金)を予定しており、場所は渋谷のトルコ料理屋「アンカラ」で実施となります。参加人数は現在のところ14名ですが、まだまだ席にも余裕がありますので、参加ご希望の方はご遠慮なくご連絡ください。

また、これらの例会以外にも、他地域稲門会との交流会など様々なイベントを企画し、より多くの方が気軽に楽しめる会を開催していきたいと思っておりますので、ご興味がある方はお気軽にご連絡ください。



(佐伯 潤/記)

趣味の部会だより

ゴルフ

・第13回三田会懇親ゴルフコンペ

平成30年5月22日(火)、相模カンツリーにて開催されました。世田谷三田会13名、世田谷稲門会15名、合計28名の参加で快晴の中で新ペリア方式で行われました。

結果は、当会の旭正勝さん(W)が6アンダーという驚異的なスコア(クジ運?)で優勝しました。準優勝は秋山さん(K)、3位に小林宏さん(W)が入りました。

3連敗中だった団体戦は、WKそれぞれ上位5名のNET合計で争われ、6打差で早稲田が勝利し連敗を阻止しました。



優勝の旭さん

・第95回世田谷稲門会ゴルフコンペ

平成30年6月6日(水)、立野クラシックゴルフ倶楽部にて開催されました。梅雨入り当日のコンペとなり、朝から小雨の降る中での開催となりました。残念ながらドタキャンも出て参加者は20名とかなり少なかったものの、91歳の小倉さんを筆頭に雨の中頑張ったラウンドとなりました。参加の皆さん、お疲れ様。

優勝は、ぶっちぎりの8アンダーで斎藤律夫さん、準優勝は原貴則さん、3位が小倉康弘さん、グランドシニア優勝は江原利次さん、シニア優勝は刀根秀己さん、レディースベストは佐伯純子さんとなりました。



左から刀根さん、斎藤さん、佐伯さん、江原さん

・【訃報】ゴルフ部会でご尽力いただいた平井恒夫さんがお亡くなりになりました。平井さんには中津川CCでのコンペなどで大変お世話になりました。ご冥福をお祈り申し上げます。(榎並 俊一/記)

カラオケ

■100歳めざす〔月例会〕毎月第一土曜日午後1時～5時ビッグエコー下北沢南口駅前店。第133回4/7(20名)年次総会(写真)・第134回5/5(12名)・第135回6/2(9名)

■〔年次総会〕人事体制は7年間収支報告・通帳管理にご尽力された塚脇一帆さんが会計報告の後で退会の挨拶。会計は倉田で新たな銀行口座を開設し残高を繰り越すことに。監査役の豊田恵之助さんが退任され新世話人の近藤正輝さんに。薄井好雄さん、横山徹さんも引き続き世話人に。そしてクリーン・オープン・オーソドックスで締め
(倉田 豊/記)



ウォーキング

4月14日(土)東武東上線中板橋駅午後1時に8名が集合、当日世話人の横山徹さんの案内で石神井川沿いに区立加賀公園～音無くぬぎ緑地～音無親水公園～飛鳥山公園～飛鳥山博物館と歩き、江戸の名残りに触れる歴史散歩も兼ねた楽しいウォーキングとなりました。

5月20日(日)のウォーキングは半蔵門線、千代田線の大手町駅午後1時に13名が参加、桃井清治さんの案内で5月の爽やかな緑深い旧江戸城内を散策。大手門～宮内庁三の丸尚蔵館～百人番所～皇居二の丸庭園～天守台～田安門から北の丸公園へと歩き、NHKの大河ドラマを見るような徳川15代の夢の跡を辿る楽しいひとときとなりました。
(江原 利次/記)



芸術芸能鑑賞

相変わらずの落語ブームが継続しています。5月には603回三越落語会(三遊亭円楽・林家正蔵など)でやはり円楽人気の強さを感じた次第。26日(土)には三越薫風寄席を楽しんだ。三遊亭歌之介の滑舌のすばらしさに改めて驚く。7月には8日(日)に三越納涼寄席を桂米助・歌丸で楽しむ。13日(金)は立川志らく・柳家喬太郎が楽しみ。

5月19日(土)には和泉流宗家総出演の「渋谷狂言ライブ」を楽しんだ。おなじみの三宅藤九郎・和泉淳子・和泉元彌の兄弟たちの「トークショー」もあり、狂言の真髄に触れた収穫を感じた。
(鈴木 宏治/記)

釣り

3月18日(日) 劔崎沖真鯛、鯆釣り8名参加。釣り場到着早々、50cm級のイナダ釣れ始め、小生即4匹釣る。鯆に変更の間際山崎氏60cmの大鯛を釣り上げる。大鯆も程々に釣れた。



4月6日(金) 霞ヶ浦ホソヘ真鯛釣り6名参加。今年も釣れず、1~2匹。小生バラタナゴ3cmを2匹観賞用にすくって帰る。15日(日)強風のため中止。27日(金)

湘南ちがさき丸より試釣り。メバル釣りは終わりの時期。青物は8月よりとの事、当日は体長30cmの深場鯆を釣る。

5月20日(日) 北強風の中、劔崎沖へ真鯛、鯆釣りに6名参加。代船松重丸は利一丸の親戚の船。大荒れの中で50艘の船が出ていた。鯛は金子氏2.5kg、山崎氏1kgの2枚のみ。鯆は國澤さんさすがの31匹。帰港後、利一丸名入りの青のTシャツを土産にもらう。

◆今後の予定(5月23日現在):6月17日(日) LT 鯆川崎つり幸。7月22日(日) キス釣り。6月の手長エビ、7月よりハゼ釣りも始まる。8月4日(土) 13時より京橋新世界にて納涼会。19日(日) ちがさき丸よりカツオ、メジ。9月18日(火) 劔崎沖ワラサ釣り。(柴田 昇/記)

麻雀

今年3月迄の月例大会の結果を報告致します。会場は用賀「鈴家」です。

平成29年10月14日(土)	優勝:田島功統	準優勝:松山雄三	3位:河村暉子(参加32名)
平成29年11月11日(土)	優勝:佐藤 喬	準優勝:宮木 甫	3位:高橋義幸(参加24名)
平成29年12月10日(日)	優勝:桃井清治	準優勝:河村卓郎	3位:林 馨(参加32名)
平成30年1月13日(土)	優勝:小池早苗	準優勝:吉村善智	3位:吉村登喜子(参加24名)
平成30年2月4日(日)	優勝:江口 工	準優勝:中村晃二	3位:奥田 隆(参加33名)
平成30年3月10日(土)	優勝:荘司真恵	準優勝:江口 工	3位:吉村善智(参加28名)

最近8卓での開催が増えました。麻雀部会発足以来の最高の卓数です。会場の鈴家は10卓の容量がありますので、一度満卓貸し切りでやってみたいものです。(店の主として) (飯田 保則/記)

食べ歩き

通算76回目の食べ歩き会が、平成30年5月25日(金)、鳥居坂の国際文化会館で開催された。

国際文化会館は1952年、国際文化交流の拠点としてロックフェラー財団などの支援で設立された施設。三菱財閥の4代目総帥を務めた岩崎小弥太(弥太郎の甥)の屋敷跡を利用した庭は、都内有数の名勝庭園といわれ、建物も文化庁指定の登録有形文化財になっている。



この日、雲一つない五月晴れに恵まれ、木々に囲まれ芝生に覆われた名園は燃え立つような新緑に輝いていた。その庭園を前にした特別室に35名の会員が集まり、最長老関根昌一さん(S23卒)の乾杯の発声で食事がはじまった。デザートの際、久しぶりに出席した横田会長と鈴木副会長が挨拶、続いて小池早苗氏(S40卒)、濱野千鶴子さん(S52卒)それに篤和秋氏(S42卒)の夫人嘉子さんが近況報告を行った。

毎回ご協力頂いている奥田隆氏(S28卒)夫人真知子さんがソプラノアリアを熱唱された。最後に薄井好雄氏(S47卒)のリードで校歌を合唱。名園の庭で記念の写真を撮り和気藹々のうちに散会した。(中井 盛久/記)

将棋・囲碁

(将棋部)

藤井聡太七段の活躍で将棋界も少し注目度が上がり、愛好者も増えたと聞いておりますが、現在会員数は非常に少なく、新規会員を募集しております。

毎月1回例会を行っておりますので、少しでも将棋に興味のある方、或いはこれから始めたいという方でも大丈夫です。駒の動かし方からお教えますので、是非一度ご参加ください。(今年度より柴田昇さんに代わり、飯田保則が代表世話人となりました。連絡は飯田保則携帯090-5070-2991まで) (飯田 保則/記)

(囲碁部)

世田谷稲門会囲碁部は、6月2日(土)に関東近県の各地区稲門会が参加する、年に一度の囲碁メインイベント「オール早稲田囲碁祭」に参加しました。5名一組の団体戦でチームとしては三戦全敗とふるいませんでしたが、池松、田中両八段は二勝一敗となんとか面目を保てました。

一泊の定例会は6月16日(土)用賀の「ふじみ荘」にて馴染みの杉並・中野からの5名とあわせ参加者12名で行う予定です。(池松 正之/記)

俳句

平成30年2月26日(月)の句会は兼題「春めく」。3月26日(月)の句会は兼題「陽炎」。4月23日(月)の句会は兼題「蝶」。5月28日(月)の兼題「青梅」でした。

いずれも桜新町区民集会所で開催されました。高得点句を掲載します。(富塚 兆彌/記)

滝音の響高まり春深し
空駆ける阿修羅のごとき春一番
ぼうたんを支える茎の細さかな
軍港を横切る胡蝶ありにけり
煌めける烏賊釣の灯や沖の春
うしろ手に髪編む乙女夏来る
大藤の風を遊ばす日暮かな

利水(江原利次)
恵那(榎並俊一)
兆弥(富塚兆彌)
上馬の(暮田忠雄)
勝(田中勝)
まもる(松尾守)
雪子(家井雪子)

大川は陽炎のなか屋形船
陽炎を黒猫つつとよぎりたり

たかニ(荒居隆二)
広(矢後勝洋)



スポーツ観戦

現在(5/14)、東京六大学野球も第5週を終わって慶大、明大が勝点3、立大が勝点2、早大、法大が勝点1、東大が勝点0となっており、優勝争いは明大と慶大に絞られてきた。

首位打者争いも激化してきた。中村浩人(法大・4年)、中山翔太(法大・4年)、逢沢峻介(明大・4年)、渡辺佳明(明大・4年)、柳町達(慶大・3年)らが争っている。

第6週の対象相手は法大だ。開幕前は優勝候補にもあげられていた法大だが、早稲田と同じく開幕ダッシュに失敗し優勝の可能性はついてしまった。しかし、一つでも上の順位を狙うべくお互いに負けられない対戦カードである。

早稲田の先発は勿論エース小島主将(浦和学院・4年)、粘投を期待したい。2回戦は早川(木更津総合・2年)か? 好不調の波が激しいのが不安材料だ。強打者がそろふ法政打線を抑える投手陣の踏ん張りが期待される。現在首位の慶大との伝統の一戦で四季ぶりの勝点を挙げるためにもこのカードは絶対に落とせない試合だ。

(小林 昭一郎/記)



写真

今年最初の撮影会を3月27日(火)に「新宿御苑」に桜の撮影を行う事にして、9時半に新宿門に集まり入場しました。当日は快晴で写真日和でした。

新宿御苑は毎年桜を撮りに行っていますが、今年は天候が読めず、日程を決めましたが、行ってみましたら、ジャスト満開の桜でした。

特に大広場の周りにある大木の桜が満開で、初めて見た光景でした。

(種谷 鴻成/記・写真)



会員の広場

ダイバーシティ

小口 浩一(昭45法)



近頃「ダイバーシティ」という言葉をよく耳にする。これは主として多様な人材を積極的に活用しようという考え方である。ここではそのような限定的な言葉ではなく日本語訳で「多様性」という意味で使う。

一九六〇年に日米安全保障条約の改定の問題で大きな騒ぎになった。いわゆる六〇年安保問題である。その時は兵庫県の中学3年生であった。6月のある日、1時間目の社会の時間に先生が教室に入ってくるといきなり「権美智子さんという人が亡くなったそうだ」と言った。我々は「それは何だ」と思った。私は、その5年後に早稲田

大学に入学した。法学部の語学クラスの東京出身の同級生から「六〇年安保の時は、高校生が安保反対のデモに行くのは当たり前だった。我々の中学校ではデモに行くべきが校内で議論した」と言われ、兵庫県の中学生と東京の中学生ではいぶん違っていたのだと、いわばカルチャーショックを受けた。

早稲田大学はかつては全国から学生が集まってきた。当時の入学者全体の状況は把握していないが、私が在学していた頃50人のクラスには北海道、長野、静岡、愛知、滋賀、大阪、広島、福岡など首都圏(特に東京、埼玉、千葉、神奈川の1都3県)以外の出身者が結構いた。

40年近く前にはすでに1都6県出身者が6割を超えているという状況になり、本年度は8割に近づいている。大学では対策として近年上記の1都3県を除く出身者に対する奨学金制度(めぐせー都の西北奨学金)を創設するなどの対策を立てているが、効果はいかほどのものか。それ以外の方策はないのだろうか。

20年ほど前、ある国立大学で、かつては学生が全国から

集まっていたが最近では周辺数県の出身者が六〜七割を占めるようになったという嘆きを聞いた。早稲田とよく似た話である。その話がある方にしたところ、自分が大学に入りたところ、自分が大学の色は何色か」という質問をした。その方は神奈川県出身であり、土の色は黒いと思っていたが、教授は関西から西は土の色は白い、日本でも地域によっているといろいろと違いがあるのだと言われた、と私の早稲田での経験と同様な感想を持っていると言われたことがある。

世田谷に暮らす

花澤 隆(昭49理工)



2014年の「世田谷ナンバー」導入に際しては賛否両論あり、長く議論されていたように記憶する。色々なメリツト、デメリットが挙げられていたが、結局は「世田谷」と「品川」のどちらにブランド力があるか、どちらのナンバーを付けている方が格好いいか、そういうことではなかったか。私にとってはどちらでも良い話ではあったが、「世田谷」という地名がブランドだという考えには少なからず驚きを覚えた。

私は梅ヶ丘で生まれた。子供の頃は家近くの川でザリガニを取って遊んだ。畑やら、地下水の湧き出る空き地やら、雑木林やらもあった。現在の羽根木公園もあまり整備されてなく、自然豊かな丘であった。子供の頃の梅ヶ丘、豪徳寺近辺は自然と親しむことが出来る素晴らしい環境だった。私にとって「世田谷」は田舎であり、それがなぜブランドなのだろうか。

一方の「品川」を見てみよう。江戸時代の品川宿と言えば、遊郭があったり、南端には鈴ヶ森刑場などがあったりで負のイメージも少なくない。しかし、山手線の内側には品川駅

から目黒駅にかけて城南五山(島津山、池田山、花房山、御殿山、八ツ山)という高台があり、江戸時代は大名の下屋敷や上屋敷が点在していた。その跡地が昭和初期から開発され、高級住宅地になっている。これが「品川」のブランド力を大いに高めたものと考えられる。皇后陛下の御生家も池田山に在った。私にとっての「品川」はこのイメージだ。まさに高級ブランドだ。

数年前から地元に住んでいる中学生時代の同期が集まるようになった。40年以上何の連絡もしていなかった仲間が集まり、少年時代に戻った気分ですり合える。そして今はこれに世田谷稲門会が加わり、地元の先輩方と楽しい時を過ごしている。地元への付き合いが多いのは「田舎趣味」だと、別の土地から嫁してきた家内には笑われるが、会社人間を終えた身の上には、こうした集まりは刺激があつてとても良い機会だと思っている。

「世田谷」がブランドというのは、平成の御代もあと一年も無い時代になって、世田谷も大きく変わって来たということの現れなのだろう。しかし私にとっては、ここ世田谷

が紛れもない故郷だ。田舎である「世田谷」、ブランドではない「世田谷」の方が落ち着き、安らかな気持ちになれる。そして同郷の仲間と楽しく暮らしていくことを大切にしたいと思っている。

世田谷ナンバーの車を見るたびに、時の流れと故郷の有難さを思い起こす。

お世話に成りました

前副会長兼幹事長
島田 實 (昭40法)



世田谷稲門会の創立間もない平成7年に幹事となり、延々20年間強。当時、未だよちよち歩きだった当会が、今や会員の皆さんの力強いご支援のお陰で、国内外校友会のリーダー的存在である東京23区支部の中でも、当会がトップクラスと云われる内容と大学からの高評価を得るに至ったことは、何物にも代えがたい喜びであります。

この間、様々な担当をさせ

て頂きました。初期の会則や規程類の作製、整備がきっかけで、規程類担当となり、今日まで改訂作業等続けさせて頂きました。そして創立20周年記念事業、25周年記念事業としての記念誌の発行。更には、少々難航したレディースクラブの設立等々、数々の思い出は尽きません。本当にお世話になりました。

願わくば、今後更なる組織の若返りを図ることで、ベテランの英知と若手の行動力を集結し、よりご満足いただける組織作りを目指して、躍進されますよう願って止みません。

世田谷稲門会・新幹事長に

國澤 俊一 (昭43理工)



本年6月より、幹事長を務めさせて頂くことになりました。昭和43年理工学部卒の國澤俊一でございます。

生まれは疎開先の茨城県水戸市ですが、終戦直後から世

田谷線松原駅の近くで育ちました。松沢小学校、松沢中学校の卒業で、現在は川崎市麻生区に住んでおりますが、勤めの関係でウィークデイは終日桜上水の会社に居ります。

会員の皆様が今後とも更に楽しんで頂ける懇親交流の場を用意するため、会長、副会長、幹事の皆様と種々の企画を発信していきたく考えております。引き続き、皆様の積極的な参加とご支援を宜しくお願い致します。

25年以上の歴史ある世田谷稲門会を、今後も更に活力ある団体として発展させるよう、微力ではありますが精一杯役目を果たす所存でおりますので、前任の島田幹事長同様、ご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

記者の目

EYE OF REPORTERS

最近、タイムキーピングの重要性を感じる。先日開催された第27回定時総会では、終了後に諸先輩方から時間がかかりすぎだとの意見が多数出た。予定時間を30分以上もオーバーしており、もつともなご意見だ。このようなイベ

ントではタイムキーパーを置いてきめ細やかな時間管理をしてゆく必要性があると思う。TV番組などでは専任のタイムキーパーがいて、ADがボードを掲げて「あと一分」などと演者に注意を喚起している。徹底した時間管理をしてプラスマイナス5分程度で進めたものだ。

世田谷稲門会では月に一度の幹事会を開催している。詳細については省くが、この会議についても進め方に工夫が必要だと感じている。

現役で働いていたころは、会議は極力短くということ、「立ち会議」や「電話会議」といったものも利用したものだ。会議は「仕切る人」の心がけ次第でいかようにもなる。せかせかとせっかちにやれというのではなく、無駄なく進めればよいだけのことだ。

会社を退いて使える時間は多くなったが、無駄な時間はだんだらと過ごすほど退屈なものはない。逆に言えば、年老いて残り時間が少なくなってきたので、できるだけ有意義な時間の過ごし方を心がけたいと思う今日このごろである。

(稲男/記)

救命講習受講報告

5月19日(土)、13名の会員が参加し、世田谷消防署で「普通救命講習」を受講しました。当会は任意団体とはいえ、500名近い会員を擁していますので、様々な活動の場での万一の事態に備え、知識・体験を得るべく講習会を開催した次第です。

約3時間の実技を含めた講習でしたが、皆さんの積極的な姿勢に心強さを感じました。受講された方々には後日「救命技能認定証」が交付されました。

(旭 正勝/記)



世田谷稲門会 会員異動状況 平成30年5月31日現在(会員数470名、正会員427名、準会員43名)

〔新入正会員〕

氏名	卒年	学部	郵便番号	住所	電話	ブロック会	
中山 豪夫	昭39	理工	個人情報につき不掲載				さくら
浅沼 迪子	昭40	教育					きぬた
星 直樹	平18	法					さくら
三瓶 徳孝	昭51	理工					けやき
Fu Chin	平20	WBS*					玉川

* WBS：経営管理研究科

〔新入準会員〕

正会員名	準会員名	備考
工藤 隆司	工藤加寿子	
矢崎 茂夫	矢崎 敏子	

〔退会会員〕

氏名	卒年	学部	備考	ブロック	氏名	卒年	学部	備考	ブロック会
沼田 安弘	昭35	法		けやき	津村 周伝	昭36	商		きぬた
佐野 暢彦	昭34	法		キャロット	川俣 喜昭	昭48	政経		きぬた
高橋 義幸	昭43	商		玉川	石綿美知子	昭30	教育		けやき
金 美智子	昭40	法		さくら	和田 全正	昭37	理工		西北
尻無浜 優	平18	法		さくら	平井 恒夫	昭29	政経		玉川
南 敦	昭58	法		けやき	前川 俊子	昭30	教育		けやき
森 隆	昭62	商		玉川	小澤 八州	昭40	理工		玉川
寺西 真里	昭61	教育		千歳	梅田 和子	昭47	文		さくら
武藤 哲	昭28	法		千歳					

〔住所変更・訂正〕

氏名	卒年	学部	郵便番号	住所等	電話	ブロック会	
村瀬 順	昭52	政経					さくら
吉田 圭二	平09	理工					玉川
浦川 道太郎	昭44	法					
小山内 弘樹	平11	理工					きぬた

〔その他変更・修正〕

氏名	卒年	学部	修正箇所			
			メールアドレス	電話	FAX	その他
後藤 文夫	昭49	商				
吉田 圭二	平09	理工				

事務局からのお願い；

会員みなさまの入退会はもとより、転居の場合は郵便局への届け出だけではなく、世田谷稲門会事務局にも忘れずにご連絡ください。また、電話番号、e-mailアドレス、ブロック会の変更、名簿の修正事項も事務局まで必ずご連絡ください。

事務局担当 篠崎 章子 電話 03-3305-4650 e-mail ; shinoshoko@gmail.com

編集後記

総会での倉田秀道氏の講演は、大学スポーツのあり方が大きな問題となっている折も折、改めて別の面から考えさせられる内容でした。

村岡桃佳選手の「死んでも早稲田に入りたい」という強い気持ちと、それに応えた大学側の多方面からのサポート、なかでもスキー部の寮を六百万円(内百万円は個人の寄付)かけてバリアフリー化したことでした。その成果は後の彼女の活躍とともに、この寮で生活を共にする他の学生に、車椅子での生活について、非常に大きな気付きをもたらしてくれたとのことでした。

今回の会報でも、ブロック会や部会の充実した活動の報告がなされました。先日、放映された「ためしてガッテン」によると、アメリカの148の研究において、長生きにつながる要因は、肥満防止、運動、禁煙によるよりも、「人とのつながり」が効果的という結果がでたとか。稲門会の活動を足掛かりにして、健康長寿をめざしたいものです。

(兼子 信子/記)